

製品名: レチノイン酸受容体 β ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号:** AMRe84288

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ICC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.71mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウム、0.05% 保護タンパク質、50% グリセロールを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:2000,IHC 1:100-1:200,ICC/IF 1:50-1:200,ICC 1:50-1:200
分子量	Calculated MW: 50 kDa ; Observed MW: 55 kDa

抗原情報

遺伝子名	Retinoic Acid Receptor beta
別名	HAP; NR1B2; RAR B; RAR beta; RAR epsilon; RARB; RRB2;;Retinoic acid receptor beta
遺伝子 ID	
SwissProt ID	P10826
免疫原	ヒトレチノイン酸受容体 β 由来の合成ペプチド

背景

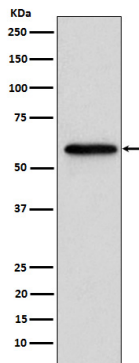
シャペロニンはミトコンドリアへのタンパク質の輸入と高分子の組み立てに関与する。Hsp10 と共存することで、輸入タンパク質の

正しいフォールディングを促進する。また、ストレス条件下でミトコンドリアマトリックス中に生成される未折り畳みポリペプチドのミスフォールディングを防ぎ、リフォールディングと適切な組み立てを促進する可能性もある。

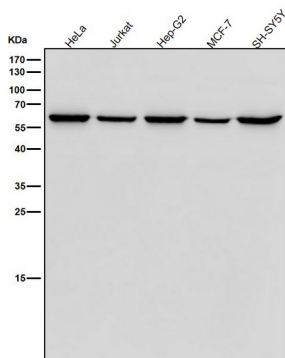
研究分野

-

画像データ



MCF7 細胞溶解物中のレチノイン酸受容体ベータ発現のウェスタンブロット分析。



すべてのレーンでは、抗体を 1:2K 希釈で室温で 1 時間使用します。